



## 年越しそば



1年の締めくくりに食べる年越しそば。

「人生はそばのように細く長く生きるという意味で食べる」という説はよく聞きますがなぜそばでないとダメなのでしょう？年越しそばの風習が広まったのは、江戸時代中頃で実はいろいろな説があります。

1. 定番の「細く長く」説はもちろんありますが、関西ではそばではなく、運を呼ぶ「うどん(うどん)」を食べて「太く長く」を願うところもあります。
2. そばが切れやすいことから、1年の苦労を切り捨てようとして食べるという説。
3. そばは風雨でたれても日に当たるとすぐに立ち直る植物なのでそれにあやかっという説。

12月31日には当院でも年越しそばが出ます(潰瘍食の方は年越しうどんです)。

病院で年越しをされる患者様にも、おうちと同じ様に年の瀬を感じながら、色々な想いをこめて食べていただけたらと思います。

平成26年12月

公益財団法人丹後中央病院 栄養科



当院の年越しそば